



発行人 藤井 信吾

◆発行 取手新時代をひらく会
◆発行責任者 池田 徳光

◆URL http://www.fujii-shingo.com E-mail: hirakukaishingo@ybb.ne.jp
◆事務所 〒302-0004 取手市取手2-14-24 竹内ビル2階 TEL&FAX: 0297-72-5616

— 未来をひらく次なるステージへ —

藤井市政全開中!

藤井信吾取手市長は、3期10年目を迎え、市民と約束した様々な施策を展開中です。

昨年12月議会で成案となった第六次総合計画では将来都市像として、「ぬくもりとやすらぎに満ち共に活力を育むまち とりで」を描き、具体的な施策の展開として直近では次のものがあります。①国から認定を受けた創業支援事業計画「Matchとりで」の創設、②施設寿命の延伸のための公共施設の改修促進、③シティブロモーションの革新を狙う「魅力とりで発信課」設置、④健康・医療・福祉・環境を一体的に整備する「取手市のスマートウエルネスシティの取り組み」を発表した第14回スマートウエルネスシティ(以下SWC) 首長研究会の取手開催、⑤若者・子育て世代をはじめ高齢世代の住宅取得・改修・転居の便宜を図るための他にはないオンラインワンストップの「定住化促進住宅補助」施策、とりで住ま入る(スマイル) 支援プラン、等があります。これらの中で④について一般傍聴参加者の研究会への感想について寄稿頂きました。また⑤について概要を紹介するとともに藤井市長へのヒアリングを行いました。



夢とりでトマト祭りにて

第14回SWC首長研究会

初の取手開催

SWC首長研究会に賛同する全国30の市町の首長が集まり、5月18・19日の両日各種の研究発表が行われました。初めての取手開催であり、取手ウエルネスプラザの開館後の開催に相応しく、約200人が傍聴する中で熱気あふれる研究会となりました。SWC首長研究会とは、地域における健康づくりを個人の医療や健康の問題としてとらえるだけではなく、地域の経済や交通をも含む一人を囲む基盤全体の中で実現していくために実証実験を重ねていく首長のネットワークであり、5月現在61自治体に参加中です。



SWC首長研究会の全景

「SWC首長研究会」を傍聴して

取手市で、全国30市町の首長が参加するSWC首長研究会が開催されましたが、取手市にとっても絶大な宣伝効果があった2日間と推察します。

今回の首長研究会を拝聴して、健康寿命や高齢社会をテーマにした具体的な諸活動が全国各地で活発に展開されている事に大変共感を覚える会合であったと考えます。

一例として、見附市の久住市長の総合特区開始から5か年の成果、医療費削減に現れた成果や豊岡市中具市長の外出無関心層70%の高齢者をどの様に活動させ、継続させるための健康ポイント制度等の取り組みについて、全国各市町で高齢社会に向けて工夫して実践していることを知り傾聴した次第です。

取手市は、2013、2015年秋山弘子特任教授の「長寿社会に生きる」をテーマにした講演や久野筑波大教授の「スマートウエルネスシティ取手の推進」と題して早くから市民大学で紹介され、産官民一体で立ち上げを提起されていたが、全体として更に具現化が求められるのではないかと考えます。

市内の様々なコミュニティに働きかけ、ウエルネスシティ構想実現に協働者の一員としてそれぞれの社会経験を生かして、この神輿の一端を担う事も必要であろうと考えます。



取手市在住 島崎 淳

藤井市長発表風景

取手市在住 浅田 憲子

取手市は、5年前からSWC首長研究会のメンバーとして参加しており、先進的取組の成果として、市民の交流と健康づくりの拠点として昨年取手ウエルネスプラザがオープンした。その取手ウエルネスプラザへ30人の首長が参加して、第14回SWC首長研究会が2日間開催されたことは大変意義深いことです。各首長がこの研究会の意義を認め、健康・医療・福祉・環境をテーマに発表を通じて行政の推進に努力を重ねている状況を間近に傍聴することが出来て感無量です。

総合特区の見附市長や、新潟市長の行政側の取り組み発表に続き日本郵政グループ、コナミスポーツクラブ、第一興商等企業側のビジネスとしての取り組み等それぞれの分野で新しい試みが発表されました。

開催地の取手市では、藤井市長による取手市の概要説明の後、幅広い健康増進策の取り組み状況の発表がおこなわれました。取手市は、高齢化率の進捗が早く医療費・介護費等の扶助費の増加抑制が他の市町村同様重要課題となっています。このため健康維持増進による医療費削減、健康寿命の延伸のための食育・健康教室、市民大学講座等の健康づくりをはじめ生きがいづくり、地域や家族の絆づくりに注力している状況が発表されました。参加された首長・企業発表者の真摯な姿勢と熱意に感動しました。SWCに参加できたことは大変貴重な体験でした。

新任のごあいさつ



取手新時代をひらく会 代表代行
藤井しんご後援会 会長 若林 宣州

平素は「取手新時代をひらく会」・「藤井しんご後援会」活動への参加・ご支援を賜り心より感謝申し上げます。また先の「第十一回 藤井しんご支援者の集い」では大勢の支援者の皆様のご参加をいただき盛会裏に開催できましたことを改めて感謝申し上げます。

さてこの度、「ひらく会」総会において代表代行・後援会長の重任を仰せつかりまして、責任の重さを感じておるところでございます。前任の寺田代表代行・後援会長には「会」の発足以来、永きに亘ってこの会の発展に大きな貢献をしていただき、本当にありがとうございます。私も微力ではありますが皆様方のご協力をいただきながら、誇りをもって精一杯、役割を果たしていく所存でございますのでどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて藤井市政は十年目に入りました。「広報とりで」「ひこばえ」等でご案内のとおり、藤井市長が市民の皆様方のご理解ご協力をベースに持ち前のリーダーシップ、実現力を発揮し、着実に目に見える形で大きな成果を上げてきていますことはご承知の通りでございます。今後も取手市の将来都市像の実現を目指して、先頭に立ってまちづくりを積極的に展開していくものと確信しております。そのためにも私たちは協働の精神をもって、地域社会との関わりを大切にしながら市長支援の輪を広げていくことが、もっとと素晴らしいまちづくりに繋がっていくものと考えておりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。また、新任のご挨拶とさせていただきます。

代表代行兼後援会長退任のごあいさつ



取手新時代をひらく会・藤井しんご後援会
相談役 寺田 治

去る6月開催した「第11回 藤井しんご支援者の集い」の席上で、当日ご参加の皆様にはご挨拶申し上げましたが、本年2月の「ひらく会総会」にて「代表代行兼藤井しんご後援会長」を退任致しましたので、改めて「しんご通信47号」にてご報告とお礼を申し上げます。改めて「しんご通信47号」にてご報告とお礼を申し上げます。「藤井しんご」に対する皆さんの熱い思いに助けられて、素晴らしい時間を皆さんと共有することができました。

改めて申し上げるまでもなく、藤井しんごさんはかけがいのない人物です。この町の再生・進化を託すには十分な資質を兼ね備えています。皆さんとともに築き上げた8年間の市政改革の実績が、そのことを証明しています。「余人をもって代え難し」です。私は彼に寄り添って生きてきた年月を誇らしく思っております。

さて新たな後援会長には「若林宣州」さんが選ばれました。わたくしの最も信頼する同志の一人です。「取手新時代をひらく会」は「この町を少しでも住みよくしたい」という心構えで行動するボランティア集団です。更に多くの皆様のご支援を得てますます発展できるように努めています。長い間お力添えを頂き有難うございました。これからも宜しくお願い致します。

「とりで住ま入る支援プラン登場」 オンリーワンのとりで 地域活性化定住人口促進 策がスタートします！

藤井市長に聞きました。

とりで住ま入る支援プランがオンリーワンであるわけは？

取手市では、市内での新たな住宅取得や既存住宅のリノベーション、シニア世帯の持家活用による住み替え支援の制度をスタートさせて若人世代の定住化促進を図ることとしました。制度導入に際して①市からの経済的支援に加え、②金融機関と

とりで住ま入る支援プラン

取手市では平成28年4月1日から定住化促進住宅補助制度「とりで住ま入る支援プラン」をスタートさせました。当制度は一定の住宅新築、増築、改修に補助金を交付します。「とりで住ま入る支援プラン」は常陽銀行、移住・住みかえ支援機構（JTI）と連携し、充実した支援制度となっております。

住宅取得補助

住宅を取得する方が対象。補助額は住宅ローンの3%で、上限は40万円。
子供のいる世帯・市内就業世帯に各5万円の加算あり。最大50万円の補助

住宅リノベーション補助

リノベーション工事(中古住宅取得時もしくは世帯員増加時)を行う方が対象。補助額は費用の10%で、上限は30万円。(加算額は「住宅取得補助」と同様)最大40万円を補助

その他シニア層の持ち家活用による住み替え支援補助制度も充実。

残価保証型住宅ローン「ゆとりライフ」

□新築住宅取得コース・中古住宅取得コース

- ・在職中の返済を厚くし、退職後の返済負担を軽減するローン
- ・転居等により住まなくなった場合には住宅取得時に残価を設定し、一定額の家賃を最大50年間保証

□中古住宅取得コース（「中古+リフォーム」一体で借入）
金利は住宅ローン金利を適用し、返済期間は最長35年間

ゆとりライフのイメージ

従来のローン: 35年間:返済10万円
35歳 60歳 70歳

ゆとりライフ: 定年まで:返済6万円
35年間、家賃保証相当分で返済:返済5万円

タツグを組んでの優遇金利、③JTI（移住・住みかえ支援機構）と連携しての残価保証型住宅ローン「ゆとりライフ」による将来の家賃保証を一体的に用意した日本初の支援システムです。

①の住宅取得やリノベーション等への市からの支援や②金融機関からの優遇金利の他にも支援策があるということですね？

◎そのとおりです。①、②に加えて、残価保証型住宅ローンが使えるようにしたことが画期的なこと

住宅取得支援の総合的な支援制度を創られた背景を教えてください。

取手市は、つくばエクスプレス沿線とは異なり開発の歴史が古いため、ゆめみ野エリア等を除くと近年は大規模な住宅地の供給が行われてきませんでした。このため年代構成で見ると働き盛りの世代がその上の世代よりかなり少なくなっています。転入者は新しく計画的に整備された住宅地に呼び寄せられる傾向がありますから、思い切った支援制度で取手への定着を促していきたいですね。

取手ならではのこの制度のメリットはありますか？

これは大いにあります。取手市は開発が古いため百戸を超えるようなまとまった新築住宅の供給は稀です。一方、入居者の生活の変化等によって十分に使える堅牢な建物が中古として市場に出るケースがかなりあります。この制度では取手市からの住宅リノベーションへの補助金があることに加えて、中古住宅をリフォームする費用まで住宅ローン金利を適用してくれるので、思い切った改装を低い金利で手当てできることは大きなメリットと言えそうです。（住宅ローンは有担保で低金利ですが別建てで用意するリフォームローンは無担保で金利が高くなるのが通例です。）手頃な価格で中古住宅を取得して住宅の内部を自分の納得のいくように改造してマイオリジナルの家として使うというのはこれからの若い世代の住まい方となることではないでしょうか。

幅広い層にこの制度を伝えていくのはたいへんではないですか？

これまで取手に関心のなかった方々へのアプローチについてはシティブロモーションという取組みでPRを検討中です。しかし、まずは、取手にお住まいの方々のご子息、ご息女で離れた場所にお住まいの方々がこの有利な住宅取得支援制度を利用して、取手に戻られる際にぜひ、活用いただければと思います。じっくりと良い物件を探して本当に自分の納得のいく住宅を手頃な価格で取得できる良い時期であるともいえます。

詳しい仕組みはどこでわかりますか？

都市整備部都市計画課で担当しています。

◎問い合わせ先：取手市役所都市計画課

(注) リノベーション：既存の建物に大規模な改修を行い、用途や機能を変更して性能を向上させたり付加価値を与えること。

第11回 藤井しんご 支援者の集い開催

会場も新たに支援者参集

6月11日昨年オープンした取手ウエルネスプラザにおいて第11回藤井しんご支援者の集いが開催されました。交通アクセスに恵まれた取手駅西口に近い立地の会場には、会場を埋め尽くすような多数の支援者が参加して、盛會裏に集いを催すことが出来ました。

集いは、新旧後援会会長の挨拶、国会議員・県会議員挨拶、公職者紹介、レミングスの夏映画監督挨拶、映像による取手市政報告、市長挨拶に続き懇親会による支援者交流の催しの構成で行われました。

集いの実行にあたっては、「取手新時代をひらく会」、「藤井しんご後援会」、「レディス藤の会」による実行委員会スタッフの3か月前からの周到な準備により、遅滞のない運営がなされました。スタッフ一同は、集いに参集される皆様へ分かり易い行政の近況報告と支援者同士・市長との交流を支援すべく気配りに注力してまいりました。来年度は、参集される皆様の満足度を尚一層高めるためにアンケートにより評価を頂きましたので参考にさせていただきます。集いに参加して催しの全体を評価する指標として、来年度の集いは是非参加したいとの回答者が67%、できれば参加したいが33%であり、ほぼ全員に大変好評であったことが窺えます。紙面を借りて厚く御礼申し上げます。



懇親会風景



藤井市長



スピーチを聞く皆さん



演台前

熊本地震災害 義援金の寄贈

去る6月16日「取手新時代をひらく会」

（代表代行 若林宣州）は、取手市役所を訪ねし、藤井信吾取手市長をとおして、日本赤十字社茨城県支部長へ平成28年度熊本地震災害義援金6万5490円を贈りました。この義援金は、先に開催された「取手新時代をひらく会」主催のイベントにおいて募金を呼びかけ、多数の皆様のご賛同により寄贈されたものです。ご報告申し上げます。報告書も改めまして御礼申し上げます。



市役所庁舎にて義援金贈呈

しんご通信購読者募集中

取手新時代をひらく会では、「しんご通信」を発行して購読者にお届けしています。年会費は1000円です（発行3回/年）。この機会にご購読をお勧めいたします。
購読費振替先
郵便振替口座加入者名「取手新時代をひらく会」
口座記号番号 00190-5-280778

「レディス 藤の会」 入会募集中

この会は「取手新時代をひらく会」の女性会員で作る「藤井しんご支援者グループ」です。藤井市長から活動報告を聞いたり、市政に反映させるための意見集約をしたり、また親睦を深める等の活動をしています。詳しくはしんご事務所（留守電、ファクス）かメールでご確認ください。

編集後記

今年度より、初めてのしんご通信編集の任を預かり慣れないための手さぐりでの編集となりました。不備な点も多いとは思いますがご容赦頂ければ幸いです。今後とも市政の情報発信、ひらく会・後援会活動の報告等皆様に幅広くお知らせしていきたいと考えます。

（編集長 池田徳光）